

政策と科学の共進化

—その理想と現実、次のステージに向けて—

企画：政策研究大学院大学SciREXセンター

2021.2.17 (水) 18:00~20:00 Zoomにて開催

特設HP <https://www.scirex-openforum.info/>

シリーズ第九回概要

科学技術イノベーション政策は今、エビデンスに基づく政策形成(EBPM)の推進や、SDGsのように複雑な社会課題への貢献が、ますます求められるようになってきています。そのためには、科学技術イノベーション政策そのものを対象とした科学の深化とともに、実際の政策形成プロセスの進化を車の両輪として推進し、「共進化」を図っていくことが重要と考え、SciREX事業では取り組みを進めてきました。この10年間で何が変わり、今後、「科学技術イノベーション政策のための科学」はいかにあるべきでしょうか。本セッションでは、SciREX事業を共に推進してきた拠点大学・関係機関の関係者が集い、国内外の社会情勢の変化や関連動向なども織り交ぜながら、過去・現在・未来の「科学技術イノベーション政策のための科学」について議論します。

登壇



有本 建男

政策研究大学院大学 SciREX センター 副センター長
客員教授 (GiST)



城山 英明

東京大学公共政策大学院・法学政治学研究科 教授 (STIG)



青島 矢一

一橋大学イノベーション研究センター 教授 (IMPP)



平川 秀幸

大阪大学 CO デザインセンター 教授 (STIPS)



川上 浩司

京大工学学際融合教育研究推進センター政策のための科学ユニット
ユニット長/大学院医学研究科 教授 (STIPS)



永田 晃也

九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター センター長
教授 (CSTIPS)



富澤 宏之

文部科学省科学技術・学術政策研究所第2研究グループ
総括主任研究官



山縣 然太郎

国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター
「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」
プログラム総括/山梨大学大学院総合研究部 教授



倉持 隆雄

国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター
副センター長



黒田 昌裕

政策大学院大学 SciREX センター 顧問
国立研究開発法人科学技術振興機構 特任フェロー



藤原 志保

文部科学省文教施設企画・防災部計画課 企画官



吉本 陽子

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング 経済政策部
主席研究員 (SciREX アドバイザリー委員)

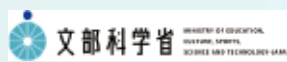
お問い合わせ

オープンフォーラム運営事務局: scirex-openforum@nagoya-nsc.co.jp

主催



共催・協力



SciREX拠点大学・関係機関

科学技術イノベーション政策は、大きな転換点を迎えています。政策が対象とする範囲は、科学技術の振興のみならず、デジタル技術の急速な普及による社会の変化への対応や、SDGsのように複雑で多様な社会課題への貢献など広がりを見せ、多様なステークホルダーの参画や共創が求められています。更に、新型コロナウイルスの発生は、政策と科学のコミュニケーションや相互の信頼、そしてエビデンスに基づく政策決定について、一部の専門家のみならず、広く社会に対し問題を提起するものとなりました。また、ポストコロナにおける課題解決のための研究開発の振興、人材育成の在り方、サイエンスコミュニティそのものの多様化など、様々な側面で従来とは異なる新たな展開の必要性を突き付けています。今、科学技術イノベーション政策として、何が求められているのでしょうか。政策と科学の関係性はどうか進化すべきでしょうか。国内外の動向を紹介するとともに、2011年度から実施してきた文部科学省補助事業・科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」（SciREX事業）における取り組み等も紹介しながら、セミナーシリーズとして多岐にわたる角度から議論します。

スケジュール

4テーマ・11セッションを、2020年12月下旬～2021年3月にかけて開催します。

テーマ：【1】政策と科学の関係、【2】EBPM、【3】人材育成、【4】共進化

M：GRIPS SciREX センター主催のメインセッション P：各拠点・関係機関からの提案セッション

#	日時	テーマ	企画者	セッション名等
1	12/22 (火) 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター	M1：科学と政治、政策
2	1/11 (月) 18:00-19:30	【3】	九州大学 CSTIPS	P1：九州大学CSTIPSにおけるSTI政策専修コースの7年間を振り返る
3	1/18 (月) 18:30-20:00	【2】	GRIPS SciREXセンター	M2：科学技術イノベーション政策におけるEBPM実現の展望
4	1/21 (木) 18:00-19:30	【2】	京都大学 STiPS	P2：EBPMに向けた自治体との連携による健康、医療のデータ活用
5	1/26 (火) 18:30-20:00	【1】	JST 社会技術研究開発センター	P3：アフターコロナの政策のための科学に向けて - リスクモデルと経済モデルの統合可能性-
6	2/5 (金) 18:00-19:30	【3】	GRIPS SciREXセンター 日英同時通訳	M3：変わりゆく科学技術イノベーション政策のエコシステムと人材育成
7	2/12 (金) 18:30-20:00	【3】	GRIPS GiST・SciREXセンター 東京大学 STIG	M4：科学技術イノベーション政策人材育成の現在と未来
8	2/16 (火) 18:00-20:00	【1】	東京大学 STIG 大阪大学 STiPS 日英同時通訳	P4：リスクガバナンスとコミュニケーションの新展開—新興感染症、自然災害、気候変動への複合的対応
9	2/17 (水) 18:00-20:00	【4】	GRIPS SciREXセンター	M5：政策と科学の共進化—その望ましい姿と現実、次のステージに向けて—
10	3/9 (火) 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター 日英同時通訳	P6：科学技術外交
報告会	2/17 (水) 14:00-16:00	【4】	文部科学省	P5：研究開発プロジェクト報告会

※日程やセッション名など、随時更新

対象者

科学技術イノベーション政策に関心のある政策立案関係者、研究者、企業、NPO等マルチステークホルダーによる政策形成や推進に向けて、多様な方々のご参加をお待ちしております。